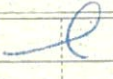
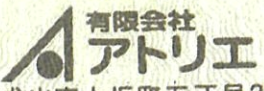


会計様式第 1

支 出 伝 票																						
会派名	代表者	経理責任者	会計年度	整理番号																		
令和新政クラブ	大井雅雄	小川清美	令和元	 10																		
支 出 項 目	☐ 1 調査研究費 ☐ 6 会 議 費 ☐ 2 研究研修費 ☐ 7 資料作成費 ☒ 3 広 報 費 ☐ 8 資料購入費 ☐ 4 広 聴 費 ☐ 9 人 件 費 ☐ 5 要請・陳情活動費 ☐ 10 事 務 所 費			令和2年3月19日																		
支 払 金 額	<table border="1"> <tr> <td>金 額</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td>6</td> <td>1</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table> 円				金 額			3	0	5	9	4	5		7	3	1		6	1	0	
金 額			3	0	5	9	4	5														
	7	3	1		6	1	0															
使 途 内 容	会派広報の印刷(17000部)及び配布費(15120部)																					
《領収書添付欄》																						

領収証		No. _____
犬山市議会 令和新政クラブ様		2 年 3 月 23 日
金 額	¥ 203 885	内 消費税等
但 令和新政クラブ報代		現 金 
上記正に領収いたしました		小切手
  犬山市上坂町五丁目214番地 TEL(0568)61-4872 FAX(0568)61-4759		

令和
平成 2 年 3 月 23 日

納品書

No. _____

有限会社 アトリエ

犬山市議会 令和新政クラブ様

〒484-0059 愛知県犬山市上坂町五丁目214番地
TEL (0568) 61-4872 代
FAX (0568) 61-4759

商 品 名	数 量	単 価	金 額
令和新政クラブ報 上質 A判 44.5F8 A4判 4頁 (A3/2折) 両面カラー			
データ制作	4	10,000	40,000
印刷・折リ加工	17,000	8.55	145,350
小 計			185,350
消 費 税 (10%)			18,535
合 計			¥203,885-

領収証

令和新政クラブ 大井 雅雄 様

No. 0237

★

¥102,060-

但

市政=ユース配付代として

2 年 3 月 24 日 上記正に領収いたしました

内訳

税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等
税率	金額(税抜税込)
%	消費税額等

収 入
印 紙

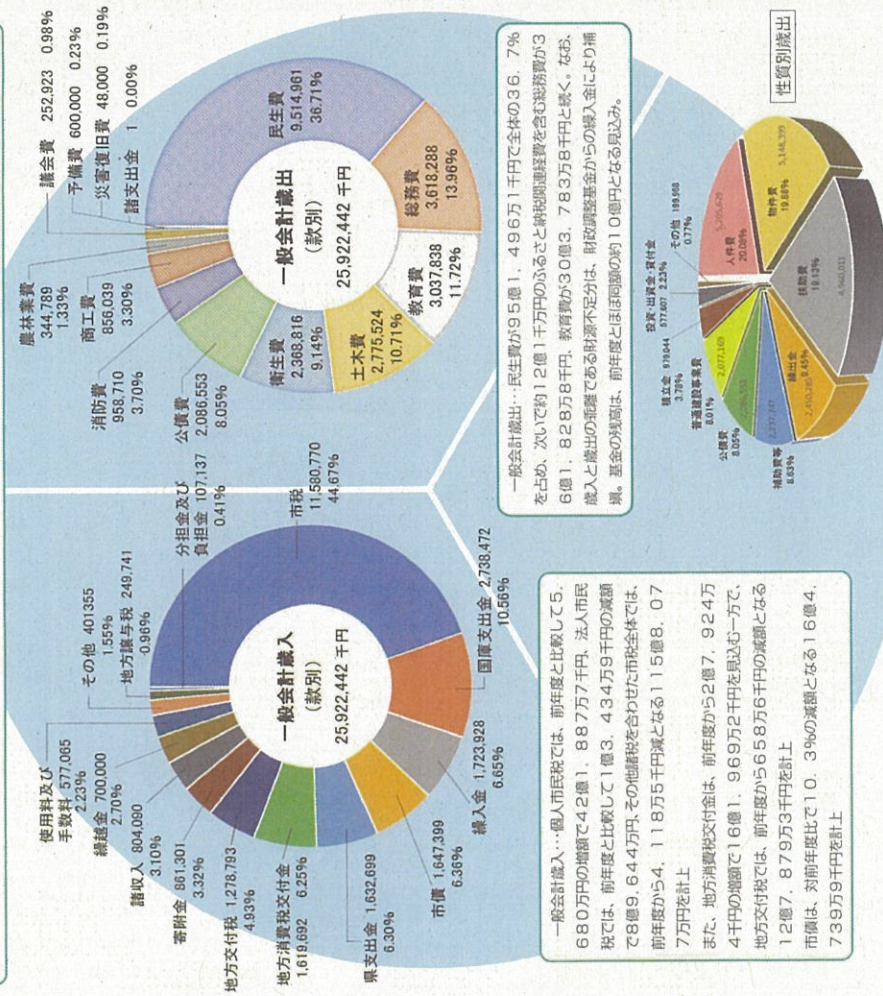
コクヨ ウケ-1097

公益社団法人 犬山市シルバー人材センター
会 長 大 嶋 正



令和2年度当初予算を可決 規模 435.5億円

一般会計は、259億2,244万2千円で、前年度と比較して1.1%、2億7,033万3千円の増加。特別会計と企業会計を合わせた一般会計の総額は453億5,021万6千円で、前年度から1.3%、5億9,553万8千円増加し、過去最大です。



調査1 赤穂市の公共交通機関

赤穂市は、公共交通機関として民営のバス路線があるが、中心市街地から離れたところに集落がある。集落の住民の移動手段としてデマンドタクシーを走らせている。犬山市においても、中心市街地から離れた地区がある。その地域の移動手段として参考事例になるので、視察した。デマンドタクシーで市域全部をカバーするのではなく、既にあるバス路線と結びことで、経費を下げている。

赤穂市は、陸運局との協議を粘り強く継続して、デマンドタクシーを実現できたので、犬山市としても、デマンド交通の実現に向けて、粘り強く交渉する必要があることを学んだ。



調査2 箕面市の学校 ICT化について

箕面市では、電子黒板・デジタル教科書はもろろのこと、視察先の箕面小学校については、授業もタブレットを使い共有しあうことで、子供たち同士の意見交換が活発に行われ、先生も多くの子供たちを今までより正確に把握ができ、個別対応も細やかに出来ているのが印象的でした。

この視察後に国から突然のGIGAスクール構想が立ち上がり、行政側も準備に追われましたが、授業での活用方法やタブレットの選定基準など、視察に行ったことで内容をいち早く理解していた為、会派としても適切なアドバイスが行えました。市は令和2年度から市内小中学校で校内の無線LAN化を進めます。



調査3 箕面市の生徒へ低アレルギー献立給食を提供

箕面市は学校給食で食物アレルギー対応者の誤食事故防止に取り組む、多くの子供が共通して食べられる学校給食が最良であるとの考えに至り、各学校の単独調理方式で平成31年度より全ての給食を低アレルギー献立に変更し、全生徒に提供している。子供たちの笑顔あふれる給食時間となっている。栄養バランスも変わりなく提供でき、変更による保護者からの反対の声はなく、また誤食や配膳ミスによる事故防止ばかりでなく、栄養士、調理員や先生など関係者の業務軽減も図られているとの話がありました。

学校給食の全生徒に低アレルギー献立給食を提供する事は、安全性を最重視し、誤食リスク低減が図られ、更に保護者への負担軽減と関係職員等の業務・作業環境改善への効果が期待できる点を犬山市担当課に報告。市としても誤食事故防止に向けての取り組みの参考になることでした。

一般質問

行政への提案・提言 カタチになりました！

大井雅雄

○全国的な公共交通のトレンドや先進自治体の動向などから、地域公共交通網形成計画の策定などに向け、交通行政を担当する課を創設してはどうか。
→令和2年4月の機構改革において、「防災・交通課」が新設される。
○車を運転できない市民の買い物支援として、ボランティアドライバーによる土曜・日曜に公用車を活用した買物支援が実施できないか。
→令和2年度の施政方針に「今井地区において、交通弱者対策の具体的な仕組み作りの調整を進める」との方針が盛り込まれ、令和3年度の実施に向けて、地元との調整が進められる予定。

長谷川 泰彦

○災害対策用備蓄食料品を地域の子どもたちや高齢者の方々に食事で支援している「子ども食堂」など非営利社会支援事業者へ提供してはどうか
→子ども食堂への提供は防災教育、食料ロス削減の観点から有効であり、提供先としていく
○五条川右岸 (坂下・上坂地区汚水幹線) 流域下水道の整備計画はどうか
→令和元年度は犬山南三笠・北三笠地区、令和2年度は犬山中野・秋葉下地区、令和3～4年度は犬山高校周辺・東通浅井犬山線南未整備 (坂下) 地区、令和5～7年度は東通浅井犬山線北未整備 (坂下) 地区、以上の予定で整備



小川 清美

- 倒壊等の危険性がある空き家住宅についても、耐震不足の木造住宅と同程度の除去除却費を補助してはどうか。
- 令和2年度に補助制度創設実施
- 空き家の増加対策として、除却に際し、固定資産税の軽減措置やその他の優遇措置を導入すべきと思うが、いかがか。
- 危険空き家住宅の解体により更地となった土地の固定資産税、都市計画税を令和3年度課税分から最長3年間減免実施

畑 竜介

- 昨今社会のICT化は学校教育現場にも及んできており、犬山市もデジタル教科書を導入する必要があるのではないか。
- 令和2年度より、犬山南小学校をモデル校として実施
- 福祉会館解体に伴い撤去予定の1階ロビー壁面は地域住民の思い入れもあることから、市民と共に今後の利活用を考えたデータ保存を提案する。
- 犬山高校の授業の一環として、共同で取り組む予定



令和2年度市の施策 ～市長の施政方針演説より主なものを抜粋～

- 経済部**
 - ・市内の空き家等をオフィスとして活用する際の補助制度を創設
 - ・担い手となる農業者に対し施設整備に対する補助金の予算額を拡大し、農業経営を支援
 - ・折り畳み式でみネットのサイズの多様化するとともに、監視カメラを30台程度導入
- 教育部**
 - ・児童・生徒に一人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するGIGAスクール構想の実現のため、ネットワークの環境整備と端末の調達を順次実施
 - ・ICT機器を効果的に活用した授業のあり方についての研究を進めるために、モデル校でデジタル教科書を取り入れた実証研究を行う
 - ・図書館の2階展示室を「子ども読書空間」としてリニューアル
- 消防部**
 - ・救急救命体制を強化するため、高規格救急自動車4台目を新たに導入
 - ・消防職員定数を103名まで増員し対応
 - ・防火水槽の修繕予算を拡充
- 健康福祉部**
 - ・犬山市福祉会館は、令和2年度中に解体工事を実施
 - ・「おたふくやぐちけん」接種費用の一部助成を4月から開始
 - ・働く世代の健康づくりの推進について、積極的に従業員の健康保持・増進に取り組む企業等を表彰する制度を創設し、健康まちづくりにつなげる。
- 都市整備部**
 - ・アスベスト対策に対する補助制度を創設
 - ・「富岡荒井線」二ノ宮川より南の栗田郷作地内について道路及び橋梁詳細設計に着手
 - ・通学路の安全対策として、予算を従来の5倍に拡充し、重点的にグリーンベルト及びカラー舗装を実施。また、園児の散歩コースについても、防護柵設置等の安全対策工事を実施

※犬山市は政務活動費として、年間一人15万円を限度として支給を受けられます。
なお、収支報告、実績報告などの詳細は市のホームページで公開していますので、ご覧ください。地域のご相談は、お気軽にお問合わせください。

犬山市議会 令和新政クラブ報

発行：犬山市議会派
「令和新政クラブ」
構成議員
大井雅雄 長谷川泰彦
小川清美 畑 竜介
発行：2020.3



令和元年会派先進地視察先、兵庫県赤穂市の議員に会

私たち令和新政クラブは、昨年の選挙で初当選した保守系議員4人で構成する政策集団です。それぞれが違う地域基盤で活動しており、今まで培ってきたバックグラウンドも異なることから、多種多様な問題を市民目線で共有、解決していく事を目指す会派です。大井雅雄（公共交通系）、長谷川泰彦（土木・環境）、小川清美（行政・一般・建築）、畑竜介（ICT系・市民活動）と、それぞれの得意分野を活かしながら、また、新しいことにも挑戦しつつ、地域の課題にひとつひとつ丁寧に向き合い、少しでも市民の幸せが実感できるような行政への提言を行っていきます。

会派議員が就任している委員会・協議会など

委員会名	議員名	畑 竜介	小川 清美	長谷川 泰彦	大井 雅雄
常任委員会		●		●	
民生文教委員会					●
建設経済委員会			●		
議会運営委員会		●	●		●
市議会広報委員会		●			
愛北広域事務組合				●	
尾張北部環境組合					●
都市計画審議会			●		●
休日急病診療所運営協議会		●	●		
土地開発公社		●	●	●	●
健康まちづくり推進委員会				●	
都市総合計画審議会		●			